

2018年度 卒業時アンケート集計結果

文学部

JASMINE-Navi版

この度は、「卒業時アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
アンケートの集計ができましたのでご報告させていただきます。

このアンケートでは、卒業予定者を対象に、大学、学部、学科、それぞれの学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)について、「身についたと思いますか」という意識調査をしております。同時に、「日本女子大学で学んで良かったと思いますか?」、「学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか?」を伺いました。

なお、大学、学部、学科のディプロマ・ポリシー(DP)につきましては、その回答の平均値を経年比較しております。文言の変更がある項目については、内容の似ているものはそのまま比較を行っておりますが、新規のDPIについては、比較から外している項目もあります。また、内容に変更・結合・分離等がある項目のうち、比較が可能と判断した項目については、注釈を付して集計いたしました。

※JASMINE-Naviでの閲覧は、3月20日までとなります。本学で学ばれた4年間のまとめとしてご覧ください。

※本件につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、大学改革推進室までお願いいたします。

末筆ではございますが、卒業される皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

大学改革推進室IR推進室

infosen@atlas.jwu.ac.jp

目次

1. 文学部 (全体)	2
2. 文学部 日本文学科	4
3. 文学部 英文学科	6
4. 文学部 史学科	8

<2018年度回答率>

学部	学科	専攻	卒業生数	回答数	回答率
家政	児童		105	101	96.2%
	食物	食物学	37	37	100.0%
		管理栄養士	53	53	100.0%
	住居	居住環境デザイン	51	35	68.6%
		建築デザイン	43	23	53.5%
	被服		91	83	91.2%
	家政経済		84	83	98.8%
計		464	415	89.4%	
文	日本文		119	117	98.3%
	英文		140	131	93.6%
	史		108	99	91.7%
	計		367	347	94.6%
人間社会	現代社会		117	118	100.9%
	社会福祉		92	91	98.9%
	教育		97	94	96.9%
	心理		76	77	101.3%
	文化		127	82	64.6%
	計		509	462	90.8%
理	数物科		88	81	92.0%
	物質生物科		92	91	98.9%
	計		180	172	95.6%
学部合計 (通学課程全体)			1,520	1,396	91.8%

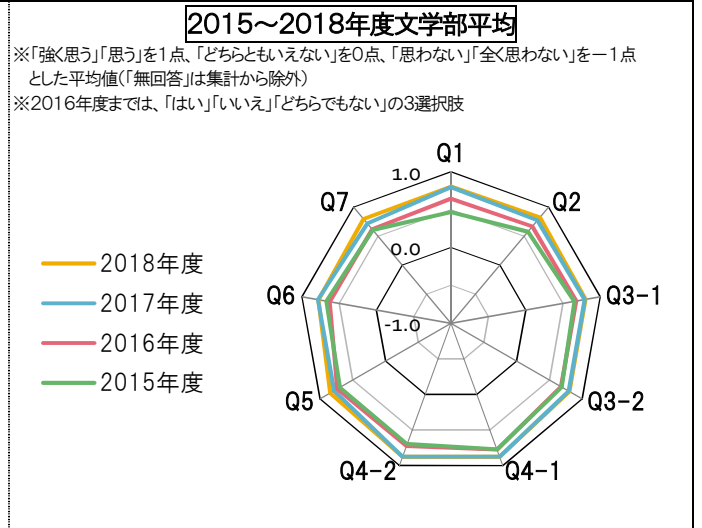
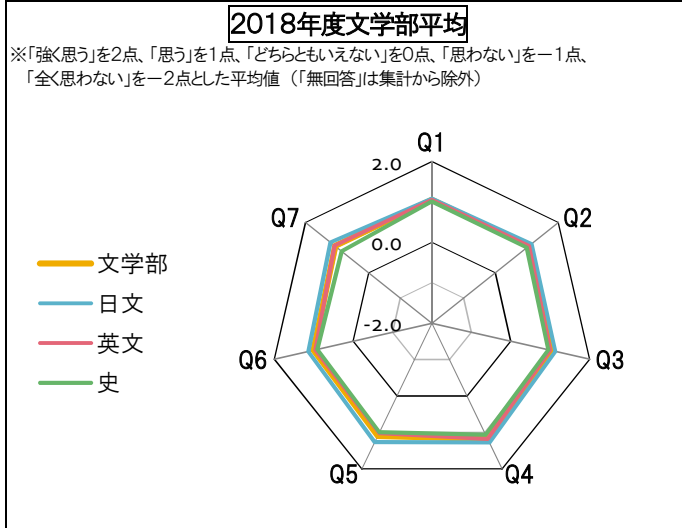
1. 文学部 (全体)

(回収率:94.6%)

＜身についたと思いますか＞ (人)

	2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7
◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)								
Q1 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。	強く思う	89	88	80	105	89	82	95
	思う	197	205	206	201	207	197	193
	どちらともいえない	50	45	52	37	45	57	46
	思わない	6	7	6	2	3	7	9
	全く思わない	3	1	2	1	2	3	3
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
◆ 文学部の学位授与方針(DP)								
Q5 健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。								
Q6 専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。								
Q7 十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。								

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない
■ 思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

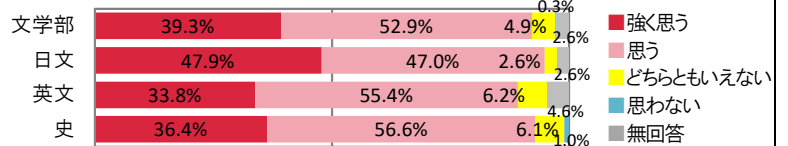


グラフ	2016年度まで	2017年度より
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。	Q1 建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。	Q2 強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3-1	専門的知識と教養教育をバランスよく学び、豊かな知性と感性を身につける。	Q3 自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q3-2	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。	
Q4-1	他者に対する共感の気持ちをもつことができる。	Q4 他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
Q4-2	まわりの人ひとと円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。	
Q5	健全な批評精神をもち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。	Q5 健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力をもって問題を深く追究することができる。	Q6 専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力をもって、他者と問題・関心を共有することができる。	Q7 十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。

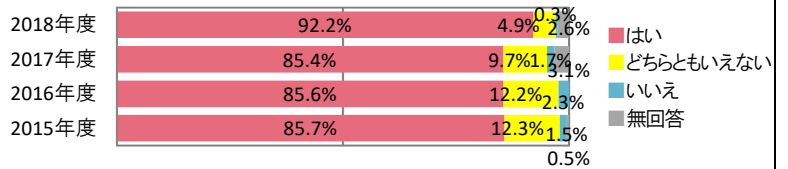
◇日本女子大学で学んで良かったと思えますか？（2013年度から調査している項目）

2018年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	136	56	44	36
思う	183	55	72	56
どちらともいえない	17	3	8	6
思わない	1	0	0	1
全く思わない	0	0	0	0
無回答	9	3	6	0

(人)



文学部	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	136	95	302	335
	思う	183	151	302	335
どちらともいえない	どちらともいえない	17	28	43	48
	いいえ	1	3	8	6
いいえ	全く思わない	0	2	8	6
	無回答	9	9	0	2

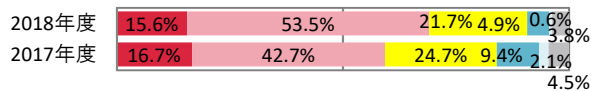
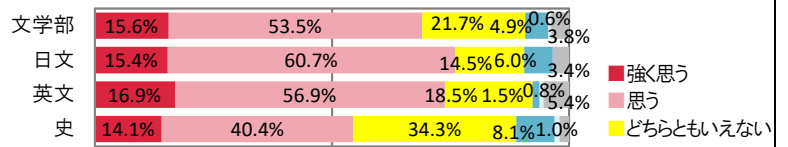


※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

◇学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思えますか？（2017年度からの調査項目）

2018年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	54	18	22	14
思う	185	71	74	40
どちらともいえない	75	17	24	34
思わない	17	7	2	8
全く思わない	2	0	1	1
無回答	13	4	7	2

(人)

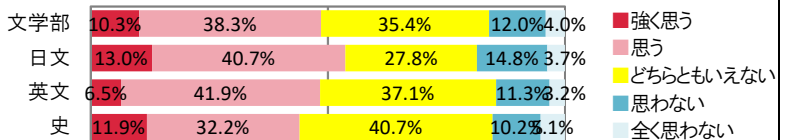


※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

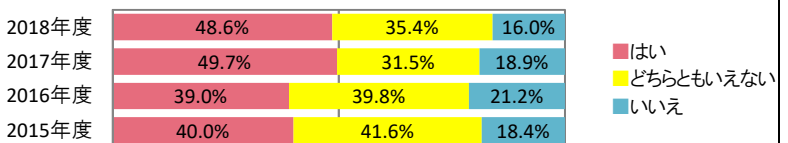
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

2018年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	18	7	4	7
思う	67	22	26	19
どちらともいえない	62	15	23	24
思わない	21	8	7	6
全く思わない	7	2	2	3

(人)



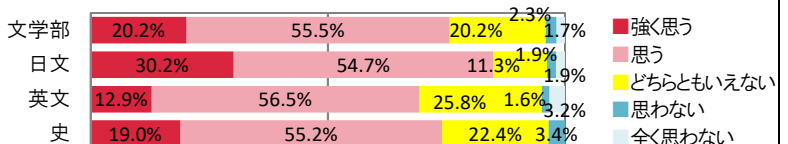
文学部	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	18	26	92	100
	思う	67	45	94	104
どちらともいえない	どちらともいえない	62	45	94	104
	いいえ	21	16	50	46
いいえ	全く思わない	7	11	50	46
	無回答	17	145	117	141



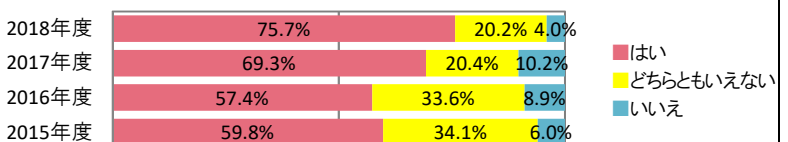
★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

2018年度	文学部	日文	英文	史
強く思う	35	16	8	11
思う	96	29	35	32
どちらともいえない	35	6	16	13
思わない	4	1	1	2
全く思わない	3	1	2	0

(人)



文学部	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	35	31	135	149
	思う	96	64	135	149
どちらともいえない	どちらともいえない	35	28	79	85
	いいえ	4	7	21	15
いいえ	全く思わない	3	7	21	15
	無回答	173	151	118	142



2. 文学部 日本文学科

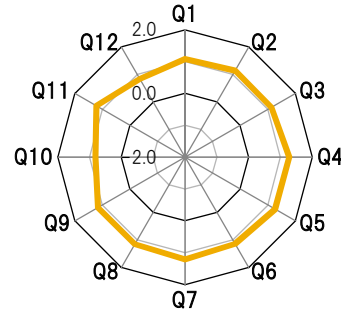
(回収率:98.3%)

<身についたと思いますか>

◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
◆ 文学部の学位授与方針(DP)	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。
◆ 日本文学科の学位授与方針(DP)	
Q8	専門的知識とその理解により培われた知性と感性によって、自ら新たな課題を発見し、その解決に努めることができる。
Q9	健全な批評精神と学問的追究心を失わず、ものごとを客観的・論理的に判断することができる。
Q10	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結び付け、国際社会の一員として、適切な判断をすることができる。
Q11	日本文学科出身であることに誇りと責任を持ち、自立した人生を切り拓いていくことができる。
Q12	専門的知識に裏付けられた調査力・思索力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を生かして国際社会に貢献することができる。

2018年度日本文学科平均

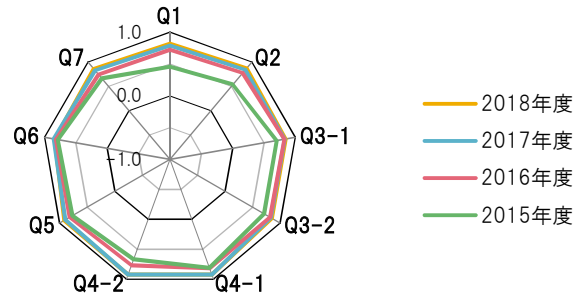
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



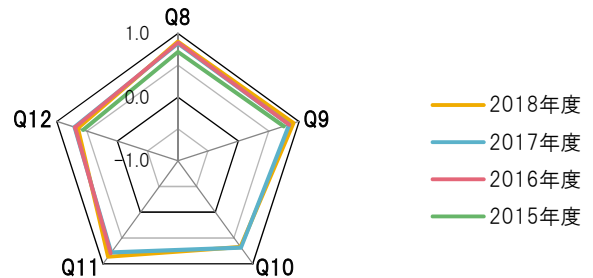
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

日本女子大学DP(1~4)・文学部DP(5~7)

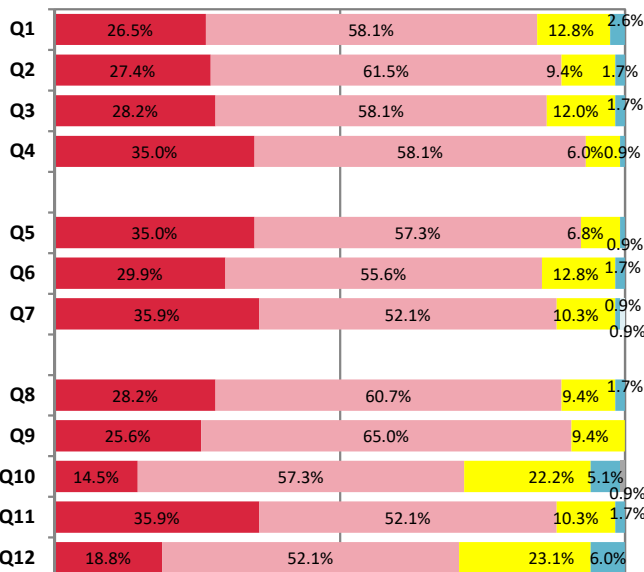


日本文学科DP(8~12)



2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
強く思う	31	32	33	41	41	35	42	33	30	17	42	22
思う	68	72	68	68	67	65	61	71	76	67	61	61
どちらともいえない	15	11	14	7	8	15	12	11	11	26	12	27
思わない	3	2	2	1	1	2	1	2	0	6	2	7
全く思わない	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない
■ 思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

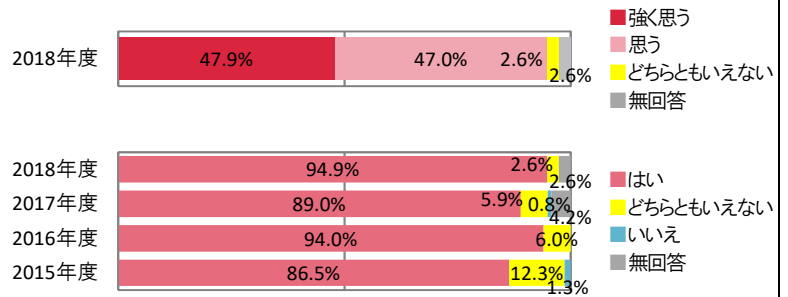


グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	専門的知識とその理解により培われた知性と感性によって、自ら新たな課題を発見し、その解決に努めることができる。	Q8	専門的知識とその理解により培われた知性と感性によって、自ら新たな課題を発見し、その解決に努めることができる。
Q9	健全な批評精神と学問的追究心を失わず、ものごとを客観的・論理的に判断することができる。	Q9	健全な批評精神と学問的追究心を失わず、ものごとを客観的・論理的に判断することができる。
Q10		Q10	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結び付け、国際社会の一員として、適切な判断をすることができる。
Q11	日本文学科出身であることに誇りと責任を持ち、自らの人生を切り開いていくことができる。	Q11	日本文学科出身であることに誇りと責任を持ち、自立した人生を切り拓いていくことができる。
Q12	専門的知識に裏付けられた調査力・思索力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を生かして社会に貢献することができる。	Q12	専門的知識に裏付けられた調査力・思索力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力を生かして国際社会に貢献することができる。

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

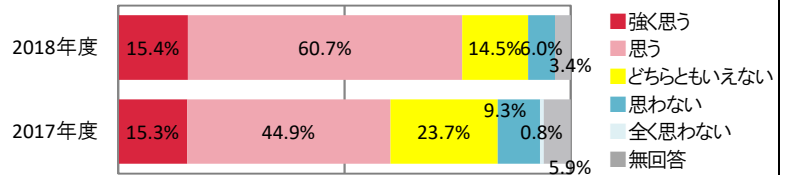
		(人)			
日文		2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
はい	強く思う	56	49	109	134
	思う	55	56		
どちらともいえない	どちらともいえない	3	7	7	19
	思わない	0	0	0	2
いいえ	全く思わない	0	1		
	無回答	3	5	0	0

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

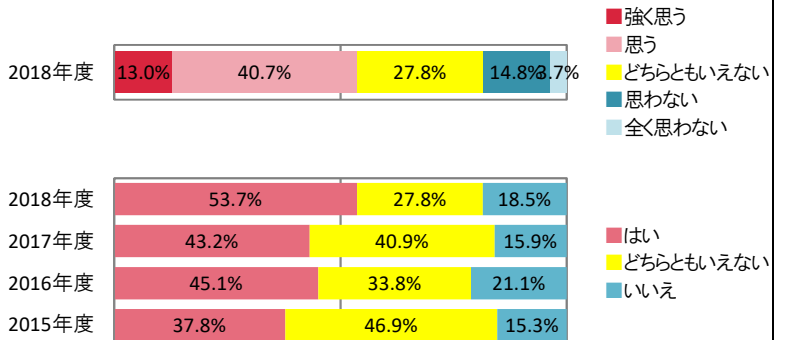
日文	2018年度	2017年度
強く思う	18	18
思う	71	53
どちらともいえない	17	28
思わない	7	11
全く思わない	0	1
無回答	4	7



※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

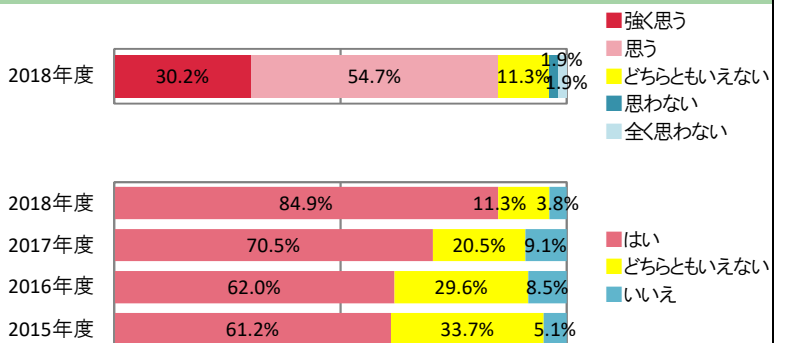
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

		(人)			
日文		2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
はい	強く思う	7	6	32	37
	思う	22	13		
どちらともいえない	どちらともいえない	15	18	24	46
	思わない	8	5	15	15
いいえ	全く思わない	2	2		
	無回答				



★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

		(人)			
日文		2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
はい	強く思う	16	10	44	60
	思う	29	21		
どちらともいえない	どちらともいえない	6	9	21	33
	思わない	1	2	6	5
いいえ	全く思わない	1	2		
	無回答				



3. 文学部 英文学科

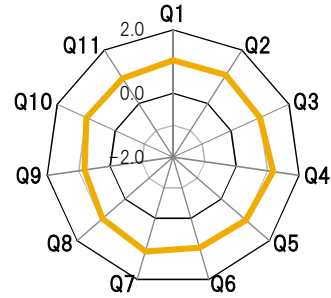
(回収率:93.6%)

<身についたと思いますか>

◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
◆ 文学部の学位授与方針(DP)	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。
◆ 英文学科の学位授与方針(DP)	
Q8	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会についての十分な専門的知識と教養教育で培われた知性により、自己と世界を広い視野から相対的・複眼的に捉えることができる。
Q9	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q10	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会への関心を深め、世界をとりまく諸問題に健全な批評精神を持って向き合い、更に発信する意欲と自覚を身に付けている。
Q11	英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力とプレゼンテーション力、文章表現力を身に付けている。

2018年度英文学科平均

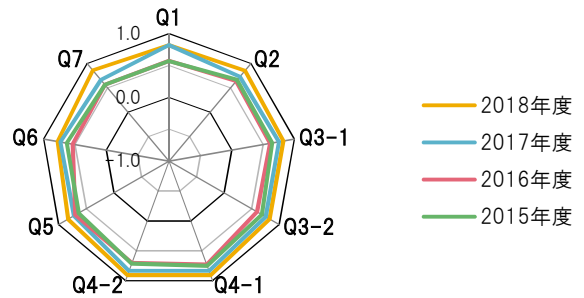
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



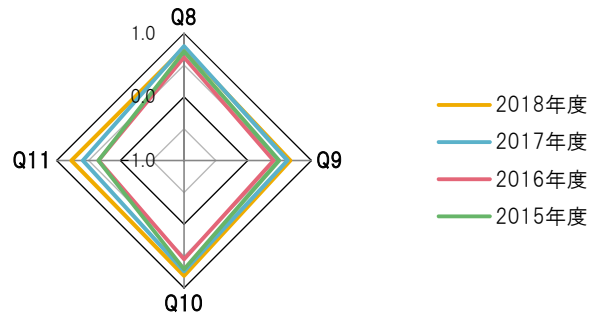
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

日本女子大学DP(1~4)・文学部DP(5~7)

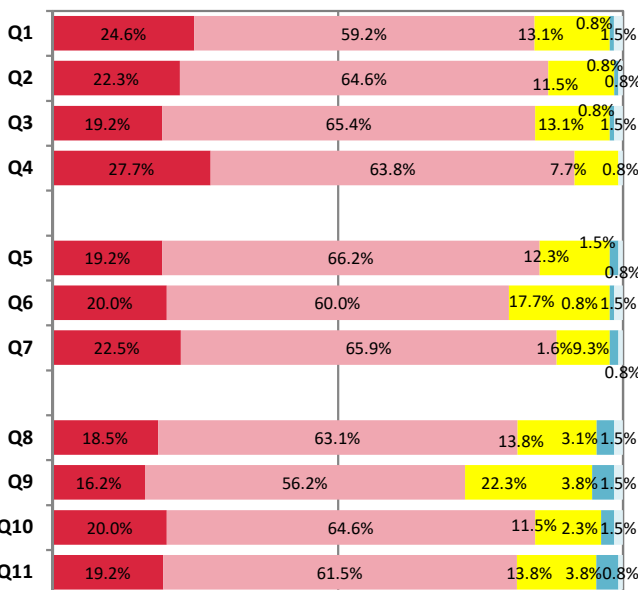


英文学科DP(8~11)



2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
強く思う	32	29	25	36	25	26	29	24	21	26	25
思う	77	84	85	83	86	78	85	82	73	84	80
どちらともいえない	17	15	17	10	16	23	12	18	29	15	18
思わない	1	1	1	0	2	1	2	4	5	3	5
全く思わない	2	1	2	1	1	2	1	2	2	2	1
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない
■ 思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

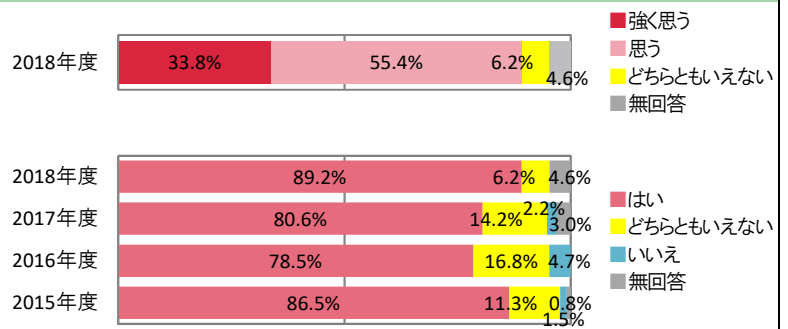


グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会についての十分な専門的知識と教養教育で培われた知性により、自己と世界を広い視野から相対的・複眼的にとらえることができる。	Q8	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会についての十分な専門的知識と教養教育で培われた知性により、自己と世界を広い視野から相対的・複眼的にとらえることができる。
Q9	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。	Q9	専門的知識と教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q10	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会への関心を深め、世界をとりまく諸問題に健全な批評精神を持って向き合い、更に発信する意欲と自覚を身に付けている。	Q10	英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化、社会への関心を深め、世界をとりまく諸問題に健全な批評精神を持って向き合い、更に発信する意欲と自覚を身に付けている。
Q11	英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力とプレゼンテーション力、文章表現力を身に付けている。	Q11	英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力とプレゼンテーション力、文章表現力を身に付けている。

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

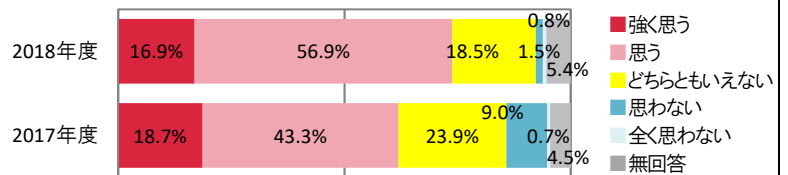
英文		2018年度	2017	2016	2015
はい	強く思う	44	33	117	115
	思う	72	75		
どちらともいえない	どちらともいえない	8	19	25	15
	思わない	0	2	7	2
いいえ	全く思わない	0	1		
	無回答	6	4	0	1

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

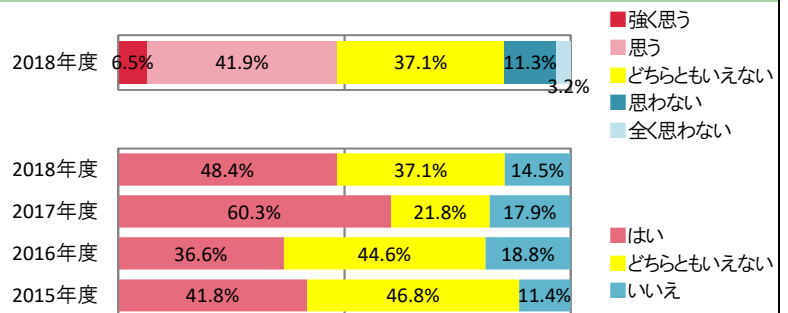
英文	2018年度	2017
強く思う	22	25
思う	74	58
どちらともいえない	24	32
思わない	2	12
全く思わない	1	1
無回答	7	6



※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

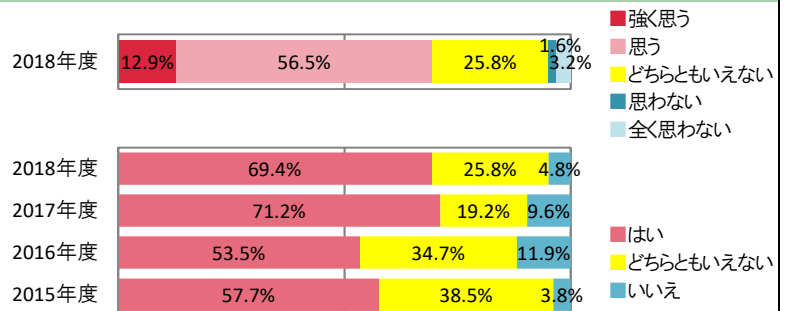
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

英文	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	4	16	37	33
	思う	26	31		
どちらともいえない	どちらともいえない	23	17	45	37
	思わない	7	9	19	9
いいえ	全く思わない	2	5		



★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

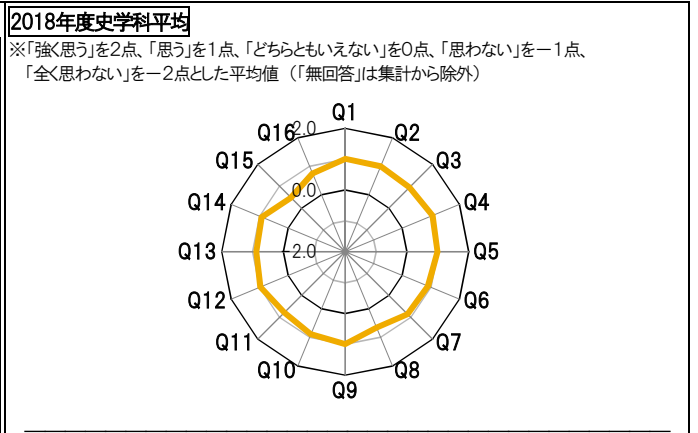
英文	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	8	15	54	45
	思う	35	37		
どちらともいえない	どちらともいえない	16	14	35	30
	思わない	1	3	12	3
いいえ	全く思わない	2	4		



4. 文学部 史学科

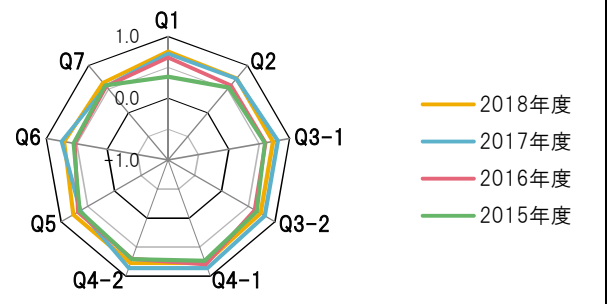
(回収率:91.7%)

＜身についたと思いますか＞	
◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
◆ 文学部の学位授与方針(DP)	
Q5	健全な批評精神を持ち、ものごとを客観的・論理的に考えることができる。
Q6	専門的知識に裏付けられた調査力・考察力を持って問題を深く追究することができる。
Q7	十分なコミュニケーション能力と発表力を持って、他者と問題・関心を共有することができる。
◆ 史学科の学位授与方針(DP)	
Q8	人間の営みの集積である歴史に対して、均衡のとれた幅広い知識を修得している。
Q9	異文化について深い知識・理解を持ち、自らの属する文化を客観的に理解できる。
Q10	健全な批評精神に基づき、歴史を客観的、論理的に認識できる。
Q11	専門的知識と教養を本学の建学の精神と結びつけ、時代に即した思考・判断力を持ち、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q12	現代世界の諸事象について、先入観に囚われず、その歴史的背景に照らして客観的に理解することができる。
Q13	多様な史資料の探索と読解に主体的に取り組むことができる。
Q14	氾濫する情報に惑わされず、広い視野から客観的に分析できる。
Q15	英語に加え第三の言語の基本を身に付け、文化的背景の理解に基づいた運用ができる。
Q16	獲得した知見を的確に表現し、他者の意見を理解し議論するに十分なコミュニケーション力を有する。

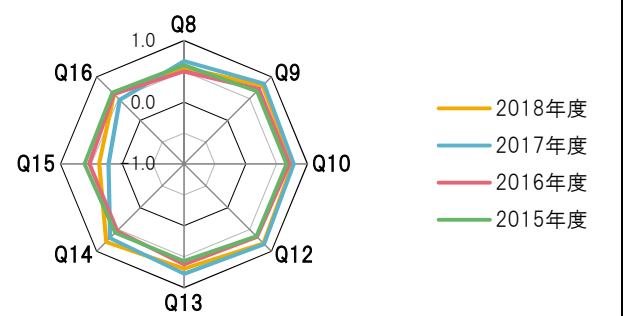


※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

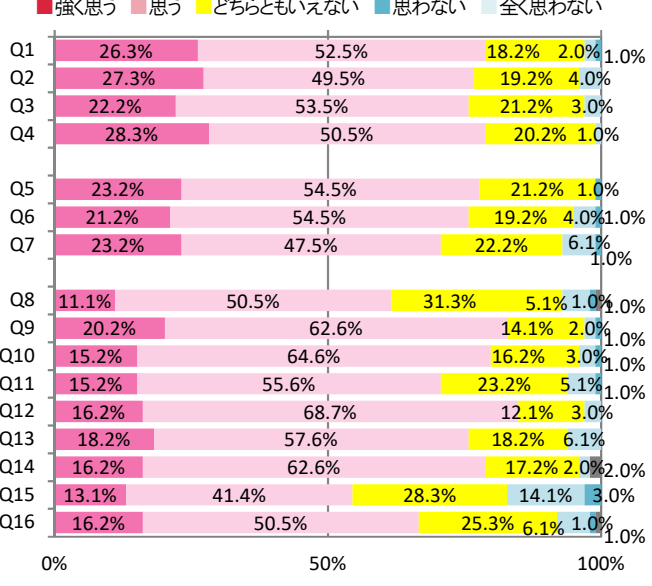
※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢
日本女子大学DP(1~4) ・ 文学部DP(5~7)



史学科DP(8~16)



2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
強く思う	26	27	22	28	23	21	23	11	20	15	15	16	18	16	13	16
思う	52	49	53	50	54	54	47	50	62	64	55	68	57	62	41	50
どちらともいえない	18	19	21	20	21	19	22	31	14	16	23	12	18	17	28	25
思わない	2	4	3	1	0	4	6	5	2	3	5	3	6	2	14	6
全く思わない	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	3	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1



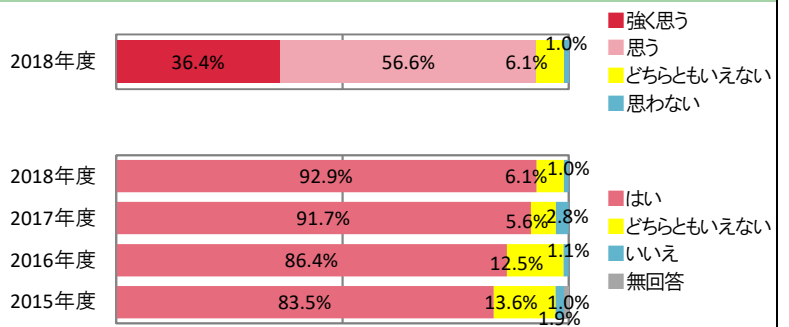
グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	人間の営みの集積である歴史に対して、均衡のとれた幅広い知識を修得している。	Q8	人間の営みの集積である歴史に対して、均衡のとれた幅広い知識を修得している。
Q9	異文化に対する深い知識を持ち、自らの属する文化を客観的に理解できる。	Q9	異文化について深い知識・理解を持ち、自らの属する文化を客観的に理解できる。
Q10	健全な批評精神に基づき、歴史を客観的、論理的に認識することができる。	Q10	健全な批評精神に基づき、歴史を客観的、論理的に認識できる。
Q11	史料や資料を体系的に読解することができる。	Q11	専門的知識と教養を本学の建学の精神と結びつけ、時代に即した思考・判断力を持ち、国際社会の一員として自立した生き方を切り拓いていくことができる。
Q12	現代世界の諸事象を、その歴史的背景に照らして理解することができる。	Q12	現代世界の諸事象について、先入観に囚われず、その歴史的背景に照らして客観的に理解することができる。
Q13	多様な史料や資料の探索と読解に主体的に取り組むことができる。	Q13	多様な史資料の探索と読解に主体的に取り組むことができる。
Q14	氾濫する情報の中から、真実性の高い情報を選び出す能力がある。	Q14	氾濫する情報に惑わされず、広い視野から客観的に分析できる。
Q15	獲得した知見や見解を、自らの言葉で的確に表現することができる。	Q15	英語に加え第三の言語の基本を身に付け、文化的背景の理解に基づいた運用ができる。
Q16	十分なコミュニケーション能力に基づき、他者と問題や関心を共有できる。	Q16	獲得した知見を的確に表現し、他者の意見を理解し議論するに十分なコミュニケーション力を有する。

※Q11は内容が異なる項目のためグラフから除外

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

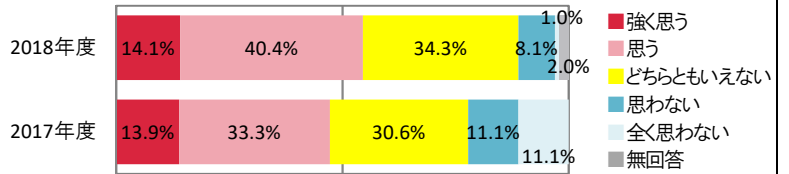
		(人)			
史		2018年度	2017	2016	2015
はい	強く思う	36	13	76	86
	思う	56	20		
どちらともいえない	どちらともいえない	6	2	11	14
	思わない	1	1	1	2
いいえ	全く思わない	0	0		
	無回答	0	0	0	1

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

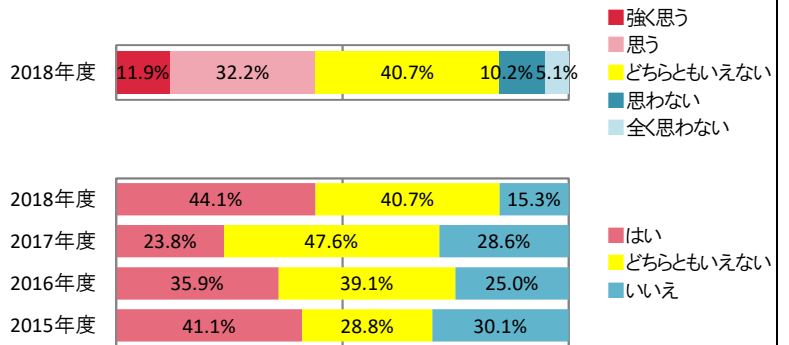
史	2018年度	2017
強く思う	14	5
思う	40	12
どちらともいえない	34	11
思わない	8	4
全く思わない	1	4
無回答	2	0



※文学部コース制修了者のみ回答 ※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

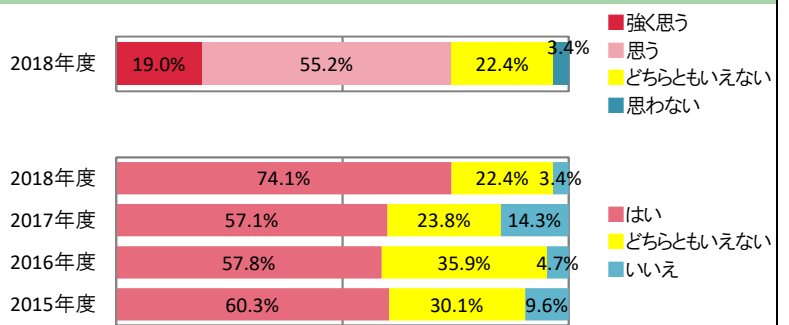
★文学部コース制は就職や資格取得等に役立ったと思う。

		(人)			
史		2018年度	2017	2016	2015
はい	強く思う	7	4	23	30
	思う	19	1		
どちらともいえない	どちらともいえない	24	10	25	21
	思わない	6	2	16	22
いいえ	全く思わない	3	4		



★文学部コース制は学問的知識の向上に役立つ等、履修してよかったと思う。

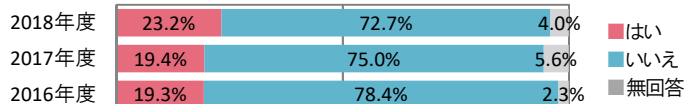
		(人)			
史		2018年度	2017	2016	2015
はい	強く思う	11	6	37	44
	思う	32	6		
どちらともいえない	どちらともいえない	13	5	23	22
	思わない	2	2	3	7
いいえ	全く思わない	0	1		



※史学科のみ回答

★在学中に、留学・海外短期研修をしましたか。

史	2018年度	2017年度	2016年度
はい	23	7	17
いいえ	72	27	69
無回答	4	2	2



以上<文学部>